

発言通告書の要旨(代表質問)

令和8年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/10 (火)	1	七宝の風 城中利文	1、市長の選挙公約	(1)1期目(2017年12月)の公約について問う。 「心つながる豊かな実感都市」四つの公約 ①子育て環境の充実 ②AI、ICTの活用 ③農林水産業の発展 ④中小企業の支援、育成 (2)2期目(2022年1月)の公約について問う。 「三本柱」 ・健康、教育、三豊市独自の脱炭素社会 (3)3期目(2026年1月)の公約について問う。 ・継続する仕組みづくり ・進捗状況 「三本柱」 ・健康、教育、三豊市独自の脱炭素社会 ・市政施行20周年行事
			2、現在の三豊市について	極めて厳しい財政状況について問う。
	1	七宝の風 瀧本哲史	1、防災について	最新の被害想定を踏まえて、地域防災計画及び総合防災マップを改訂とあるが、中身についてお聞きする。
			2、みとよ市民病院について	経営状況の改善に向け、医師の確保、病床利用率の向上といった問題に積極的に取り組んでまいりますとあるが、具体策をお聞きする。
			3、公共施設の維持管理について	公共施設の包括管理業務委託の導入の目標時期をお聞きする。
			4、地域の人事部について	地域の人事部の進展をお聞きする。
			5、脱炭素について	三豊の自然に対する投資に結びつけるなど、革新的な取り組みによる経済価値化を進めてまいりますとあるが、どういった構想を持っているのか。また、さまざまな産業にも波及効果を狙えると考えられるが、執行部の考えをお聞きする。
			6、新設豊中小学校と公共施設の維持管理について	令和8年4月の豊中小学校の開校に向けとある。また、公共施設の延床面積を将来的に約半分に削減するという従来の目標に加えて、施設の維持管理経費も指標とすることで、財政の健全化に向けて適正配置に取り組めますとある。現在の新設豊中小学校の整備状況について、お聞きする。加えて、豊中地区の廃校後の跡地問題についてもお聞きする。
			7、DXとAIについて	業務の効率化を目指したDXを大胆に革新的に進めてまいりますとあるが、視点として、人件費とデジタル化はトレードオフであるべき。具体的な成果をROI(投資対効果)で提示が必要と考えるが、執行部の考えをお聞きする。
			8、今年度のキーワードについて	私の本年の施政方針を「革新」をキーワードに述べさせていただきましたとあるが、現状を変えていくことは、賛同者や反対者をより明確にする行為だと考えるが、市長の覚悟をお聞きする。

発言通告書の要旨(代表質問)

令和8年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/10 (火)	2	清風会 高木 修	1、施政方針について	施政方針、健康福祉に関する部分において、市民一人ひとりが「幸せに生きていくこと」が自治体の核心的目標とされ、その土台が心身の健康とうたわれている。 今、市内だけでも推計4,000人の患者を抱え、大きな社会問題化している認知症への対策について、市長の課題認識と具体的対応策を問う。
			2、高瀬町公民館跡地売却問題について	今年1月になって、高瀬町公民館跡地の唐突な入札公告と現地への売地看板表示。 新たな施設の誕生を待ち望んでいた、多数の市民が驚いている。 市民の大切な共有財産、なぜ今急いで売却するのか、市長の考えを問う。
	3	三豊新政会 丸戸研二	1、人口減少への取り組み	「地域全体で生活を支える自立的な仕組みが根付いた持続可能な地域づくり」への具体的な取り組みについて 「地域コミュニティへの支援を強化するための組織体制の見直しを検討する」について 「地域コミュニティの活性化を図る地域団体に対して、幅広く活動を支援する」について 過疎対策の現状と課題について 少子化対策、若者の地域定着、移住・定住対策など直接的な人口減少対策について
			2、持続的財政運営の確立	「財源確保に真摯に取り組む必要がある。」とした具体策について ・「事務事業の見直しも踏まえて、事業を取捨選択しながら引き続き、市民の皆様へ寄り添った支援を行う」について ・地域教育ファンドを活用した部活動の地域展開について ・ふるさと納税の拡充について ・持続的財政運営とは市民目線にはどう見えるものなのか。
	4	公明党 込山文吉	1、熱中症対策について	「三豊市独自の脱炭素社会」の実現に向けた取り組みの中で、酷暑について触れているが、熱中症対策としては、施政方針の中で取り上げてはいない。熱中症対策を単なる季節施策ではなく、“命を守る最優先政策”として位置付けるべきだと考え、以下質問する。 (1)三豊市における過去3年間の熱中症搬送数の推移分析と、リスクの高い世代(高齢者、子ども、屋外作業)と課題認識を聞く。 (2)小学校体育館の空調整備計画を聞く。 (3)部活動におけるWBGTの活用は徹底されているのかを聞く。 (4)登下校の暑さ対策について、市としての統一方針はあるのかを聞く。 (5)クーリングシェルターの拡充計画はあるのか。 (6)独居高齢者の見守り体制と暑さ警戒情報を連動させているのか。
			2、みとよでスマイル ～持続と豊かさ～ 公共施設等総合管理計画について	公共施設の長寿命化について (1)予防保全型への転換はどこまで進んでいるのかを聞く。 (2)公共施設日常点検ハンドブックに基づく点検データはデジタル化されているのか。 (3)体育館の床・屋根・外壁の修繕計画は明確か。 (4)トイレ洋式化・バリアフリー化の進捗を聞く。
			3、みとよでカナエル ～育ちと学び～ 教育改革について	(1)部活動地域展開について 指導者確保・財源の持続性・活動拠点の施設整備が課題であった。 「一般社団法人 放課後共創基金」が設立されたが、これらの課題とどう向き合うのか聞く。 (2)高瀬中学夜間学級について 学齢期増加への対応は万全か、不登校・外国ルーツ支援の強化策について聞く。

発言通告書の要旨(代表質問)

令和8年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/11 (水)	5	国民民主 みとよ 近藤 武	1、農業振興計画における明確なKPI・達成状況について	<p>本市の農業の将来像は「持続可能で魅力ある産業としての農業の実現」であり、その方向性は妥当と評価できる。一方、第2次農業振興計画で示されているKPIは、新規就農者数や農地集積面積など活動量指標が中心となっている。</p> <p>今後の厳しい財政状況を踏まえれば、施策によって農業所得がどの程度向上するのか、地域経済や税収にどのような波及効果があるのかといった「成果指標」を明確に設定し、投資と成果を結び付けて示すことが重要ではないか。</p> <p>薬用作物の産地化や機械化推進などの施策についても、所得向上率や経済効果額など具体的な目標を掲げ、その達成状況を公表する仕組みを構築すべきである。取組実施にとどまらず、投資に対する成果を可視化する行政運営への転換について、市長の見解を問う。</p>
			2、茶業の需給逼迫を踏まえた中長期的な振興戦略について	<p>三豊市における茶価格の急騰を背景に、施政方針では地域農業の好機として活用する方針が示された。これに関連し、以下の3点について市長の見解を問う。</p> <p>(1)価格高騰のリスクと需給分析 価格急騰は短期的な市場変動か、中長期的な需給構造の変化か。 輸出動向や消費需要構造を踏まえた需給予測と価格変動リスクへの対応は。</p> <p>(2)担い手不足・高齢化への対策 農業従事者の減少に対し、若手・新規就農者の誘致・育成策や所得安定策など具体的施策と目標数値は。</p> <p>(3)バリューチェーン強化の連携戦略 加工・流通・販売を含めた高付加価値化に向け、加工技術支援、ブランド化、6次産業化、輸出支援機関との連携計画や年次目標は。</p>
			3、農林水産業事業団の設立構想と公共性の位置付けについて	<p>三豊市では、農林水産業をライフライン・食料安全保障の観点から「危機管理領域」と位置付け、令和8年度から担い手となる「事業団」組織の設立を構想している。これに関連し、以下の4点について市長の見解を問う。</p> <p>(1)事業団の法的形態 どの法的形態で設立するか、意思決定権・透明性・財務責任・税制対応など、市民理解を得る上での課題は。</p> <p>(2)財政負担・出資割合 初期投資・運営コスト、市の出資割合や国・県補助金・外部資金の活用見通しは。</p> <p>(3)既存農業法人・JA等との役割分担 既存組織との重複・競合回避、農家や経営者との合意形成・協働体制は。</p> <p>(4)赤字発生時の責任と公共性 赤字時の責任所在、財政繰り入れ恒常化リスク、市民負担への転嫁可能性は。</p>
			4、みとよ市民病院の役割と今後の地域医療体制について	<p>(1)みとよ市民病院の現在の役割と評価について</p> <p>(2)市民からの「救急を受けてくれない」という不満への対応について</p> <p>(3)精神科医療の維持と国への財政支援の必要性について</p> <p>(4)今後の地域医療体制の方向性について</p>

発言通告書の要旨(代表質問)

令和8年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/11 (水)	6	立憲(CDP) 伊藤幸洋	1、三豊市の財政状況について	合併特例債が7年度末で終わり、三豊市の財政は厳しいものとなっている。 市の貯金ともいべき財政調整基金は残高が約49億になるという話であるが、今後の財政の見通しと市長の考えについて問う。
			2、定員管理計画について	数年前から三豊市において「事務事業の見直し」が行われているが、進展はどのようになっているのか、また事務事業の見直しにより当然職員の業務量は減少するものと思われるが実際のところどうなっているのか、職員の採用人数に影響があるのか市長に見解を問う。
			3、人口目標について	令和5年12月に作成された「三豊市第2次総合計画後期基本計画」によると三豊市の人口目標は63,500人+となっている。現在の人口と市長の見解について問う。
			4、窓口開庁時間について	昨年、議会でも質問があった窓口開庁時間についての進捗状況について
			5、みとよ市民病院について	みとよ市民病院の今後の在り方について市長の考えを問う。
			6、こども誰でも通園制度について	こども誰でも通園制度について、開始時期、対象保育所また人員確保などについて